



KBF 関甲新学生野球 1部
2023 秋季リーグ戦

平成国際大学戦
0-6

完封負け
今季3度目



4本塁打
浴びる!!

写真 8回表、2塁打を放った主将・小関(3年)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
常磐大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
平国大	2	0	2	0	0	1	1	0	x	6	8	0

関甲新学生野球・秋季リーグ戦、第8節、常磐大学は平成国際大学と対戦し、0-6で完敗した。完封敗戦は今季3度目となる。

【10/1 白鷗大学野球場】1回表、1番小関貫太(現社3)が三振で倒れ、続く2番石原裕太(現社2)がライト前安打で出塁するも、3番の大隈聖蓮(現社3)、4番所宜和(現社3)が連続三振で倒れ、常磐大学の初回の攻撃は、無得点で終了した。その裏、常磐大学の先発は助川凱(現社2)。四球と犠打で1死2塁、続く3番にレフトスタンドへの2ランを打たれ、いきなり2点の失点。後続を打ち取り、0-2。2回裏、2死から7番安藤出望(法行3)、8番川波祐貴(現社3)が連続安打でつなぐも、9番長瀬祥太(現社3)がピッチャーゴロに倒れ、無得点。

3回裏、投手は塚田晴斗(現社2)に代わるが、先頭打者にいきなり右中間へのソロ本塁打を浴び 0-3。さらに連続四球と安打で無死満塁。適時打で0-4。

6回裏、投手は遠藤優太(現社4)に代わるが、ソロ本塁打を放たれ 0-5。さらに、7回裏にもソロ本塁打で 0-6 と点差を広げられる。このまま試合は動かず0-6で試合終了となった。

常磐大学の攻撃は、何度かチャンスを作る場面もあったものの、後続がことごとく打ち取られ、点を取りきれない苦しい展開が続いた。

バッテリーは、助川、塚田、遠藤、伊藤駿介(現社3)-長瀬祥太(現社3)、飯塚大翔(8回、現社3)。(文・野口航)

星取表 (2023年10月2日現在)

	上武	山梨学院	白鷗	平成国際	松本	新潟医福	作新学院	新潟	関東学園	常磐	試合	勝	負	勝率
1 上武大		☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	8		1.000
2 山梨学院大	★		☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	7	1	.875
3 白鷗大		★		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	7	1	.875
4 平成国際大	★		★		☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	6	2	.750
5 松本大	★	★	★	★		☆	☆		★	☆	8	3	5	.375
5 新潟医福大	★	★	★	★	★		☆	☆	☆	☆	8	3	5	.375
7 作新学院大	★	★	★	★	★			☆	☆	★	8	2	6	.250
7 新潟大	★	★	★	★	★	★	★		☆	☆	8	2	6	.250
9 関東学園大	★	★	★	★	☆	★	★	★			8	1	7	.125
9 常磐大	★	★	★	★	★	★	☆	★			8	1	7	.125

予告

手に汗握る
最終戦!!

対・関東学園大学戦

10/7 12:00(土)

関東学園大学野球場

勝てば1部残留!
負けると入替戦!